

マーケティング夏の学校 【論文化のプロセスを学ぶ夏】

1. 開催目的

流通・マーケティング研究の未来を担う若手研究者や大学院生たちが一堂に会して、セミナーや交流会、懇親会を共にすることを通して、以下のことを目指します。

- ① 論文化プロセス（構想、リサーチ設計、データ収集、執筆、ジャーナル投稿後のレビュアーとのやり取りなど）に対する知識の習得
- ② 研究および進路における様々な悩みを共有する居場所の提供
- ③ 地域・大学・ゼミを越えた人的なネットワークの形成
- ④ 自己の研究を見つめ直す（評価してもらう）機会の獲得
- ⑤ 研究の方法や分析手法に対する適切な認識の獲得

2. 募集要項

日 程	2023 年 9 月 1 日（金）・2 日（土）の 2 日間
開催方法	対面で開催する ※ただし状況によってオンラインに切り替えます
開催場所	クロスウェーブ府中 〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-40 https://x-wave.orix.co.jp/fuchu/
参加費	本人負担 5 千円（本部補助 5 千円 + 部会補助 1 万円）
募集定員	35 名程度
参加資格	以下の①～③のうちいずれかに該当する方

- ① 大学院修士・博士課程在籍者
- ② 博士後期課程修了・退学から 4 年以内の研究者
- ③ マーケティング関連分野の大学院進学志望の学部学生（指導教員に要相談）

※上記①～③に当てはまらない商業学会の一般会員でも、ここ数年のオンライン開催を考慮しまして、補助金なしで参加が可能になります。参加を希望する方は夏の学校事務局までお問い合わせください。

参加申し込み方法 および スケジュール

- ◆ 6 月 30 日（金）申し込み締め切りまでに、下記事務局宛に、メールでお知らせください。
メールタイトルを「夏の学校参加申し込み」とし、本文にご所属大学とお名前を記載してください。
事務局で確認後、参加申し込みフォームの URL を返信します。
- ◆ 8 月 25 日（金）報告資料のアップロード締め切り

申し込みならびに問い合わせ先：
マーケティング夏の学校 事務局
jsmd.summer.school2023@gmail.com

3. プログラム

第1日目	9月1日（金）
12:50-13:10	集合&開校式
13:10-15:30	セッション1 自己紹介&研究紹介
15:30-15:40	休憩
15:40-17:50	セッション2 論文化のプロセスを学ぶ① 講師 守口 剛先生（早稲田大学） 南 知恵子先生（神戸大学）
18:00-19:00	食事
19:00-21:00	セッション3 懇親会「悩みを共有しませんか」
第2日目	9月2日（土）
09:00-12:30	セッション4 論文化のプロセスを学ぶ② 講師 田頭 拓己先生（一橋大学） 外川 拓先生（上智大学） ファシリテーター 高田 英亮先生（慶應義塾大学）
12:30-12:50	閉会式

4. 各セッションの概要

セッション1 参加者による自己紹介&研究紹介

アイスブレイクを兼ねて、参加者同士で簡単な自己紹介およびポスターセッション形式での研究紹介を実施します。研究紹介では、全体を3つの班に分け、各班40分の持ち時間で順番にポスター掲示を担当します。自分の研究内容をA4のスライド紙6枚程度でまとめてください。これらの内容で1つのポスターとして壁に掲示しセッションを行います。

セッション2 論文化のプロセスを学ぶ①

多くの研究者にとって、トップジャーナルへ論文を掲載することは研究者としての主な目標の1つだと思います。本セッションでは以下のようにマーケティング関連領域におけるトップジャーナルへ論文を掲載した講演者を招聘して、論文化プロセス(論文構想やリサーチ設計、データ収集、論文執筆、そしてジャーナル投稿後のレビュアーとのやり取りなど)について学びます。各自、以下の論文を読んでから参加することをお勧めします。

- ・ゲスト1：守口 剛先生

“The Double-Edged Effects of E-Commerce Cart Retargeting: Does Retargeting Too Early Backfire?”,
Journal of Marketing (2021)

- ・ゲスト2：南 知恵子先生

“Managing with Style? Micro-Evidence on the Allocation of Managerial Attention”,
Management Science (2022)

セッション3 懇親会 「悩みを共有しませんか」

懇親会ではアンケートを実施し、その結果を踏まえ皆さんの悩みについて話し合う時間を設けたいと考えています。院生時代は真理探究を楽しむ期間ではありますが、研究の進捗や将来の不安など、色々な問

題に悩む時期でもあります。ぜひ、皆さんがどんなことで悩んでいるかについて共有しましょう。そしてそのような悩みについて他の参加者や教員がどのように付き合ってきたのかについて話すことで、より前向きに学習・研究に向き合っていける機会になれば幸いです。

皆さんへの意見聴取として、参加者名簿が確定次第2週間程度の期間を設けて、グーグルフォームを通じたアンケートを実施します。皆様にはそのアンケートを通じて、院生生活や研究、進路などに関する様々な不安や悩みを回答していただけると助かります。なお、ご回答いただいた内容については懇親会内で紹介いたしますが、個人を特定する情報とともに開示・公開することはいたしません。

セッション4 論文化プロセスを学ぶ②

我々運営委員はこのセッションに、「論文解体ショーへようこそ!」というサブタイトルを付けました。このセッションでは、実際に海外ジャーナルにて出版された研究がどのような過程を経て論文化に至ったのかについて探求します。具体的には、以下の内容に沿って論文化の過程においてどのような壁にぶつかり、いかにそれを乗り越えたかなど、より生々しい側面も含めてお話いただく予定です。講演者およびファシリテーターは、運営委員が務めます。

- ・ 講演者1 (田頭 拓己先生) の概要説明
- ・ 講演者2 (外川 拓先生) の概要説明
- ・ ファシリテーター (高田 英亮先生) のコメント、Q&A

5. 講師紹介

守口 剛 (もりぐち たけし) 早稲田大学 商学大学院 教授

東京工業大学大学院理工学研究科経営工学専攻博士課程修了、博士(工学)。

財団法人流通経済研究所、立教大学を経て、2005年より現職。

早稲田大学大学院商学研究科長、日本商業学会副会長、日本消費行動研究学会会長、「流通研究」編集長などを歴任。

1995年日本商業学会学会賞奨励賞受賞。

Journal of Marketing, Journal of Advertising, International Journal of Advertising 等に論文掲載。



南 知恵子 (みなみ ちえこ) 神戸大学 大学院経営学研究科 教授

神戸大学大学院経営学研究科教授、神戸大学学長補佐(4月1日より副学長)、博士(商学)。

1993年横浜市立大学商学部講師、同大学助教授を経て、2004年より現職。2020~2021年度経営学研究科長・経営学部長、2022年より学長補佐兼任。

1999年日本商業学会学会賞奨励賞受賞。

Management Science, American Economic Journal: Microeconomics,

Journal of Interactive Marketing, Journal of Retailing and Consumer Services

等に論文掲載。



第12回マーケティング夏の学校運営委員会

学校長：金雲鎬(日本大学)

運営委員：田頭拓己(一橋大学)、高田英亮(慶應義塾大学)、外川拓(上智大学)、戸田裕美子(明治大学)